

日常校正

校正は毎日行うことをお勧めします。測定開始前に行うのが最適です。

- ➡ 校正メニューへ移動
- ➡ 校正画面の指示に従ってください。
 - ➡ 暗電流測定の場合:校正板の黒いフェルト面を当ててください。
 - ➡ サンプル校正の場合:校正板を裏返し、反射シート面を使用してください。
- ➡ 緑色の円が表示されたら、校正が成功したことを示します。
- ➡ 校正の確認:
 - ➡ 校正板の反射シート面を再度測定してください。
 - ➡ 測定値は、校正板の標準値から2ポイント以内である必要があります。
 - 注:測定値は、機器に付属の校正レポートに記載されています。
- ➡ 校正が完了しました。



1022 ヒントとコツ

- ✓ 電源ボタンはディスプレイの下にあります。
- ✓ 本体が起動し、メインメニューが表示されます。
- ✓ 上部のバーにバッテリー残量が表示されます。終日測定を行う場合は、事前に充電してください。
- ✓ 65W充電器のみを使用してください(同梱)。
- ✓ 黒色は非反射性です。測定は不要です。
- ✓ 凡例と背景の両方について、各象限で最低1回、つまり1色につき4回の測定を行ってください。
- ✓ 設定画面の「バックライト強度」スライダーを調整して、画面を見やすくしてください。
- ✓ 画面上部の位置ピンが赤色の場合は、GPS信号が受信されています。赤いXが表示されている場合は、信号がまだ検出されていません。

モード

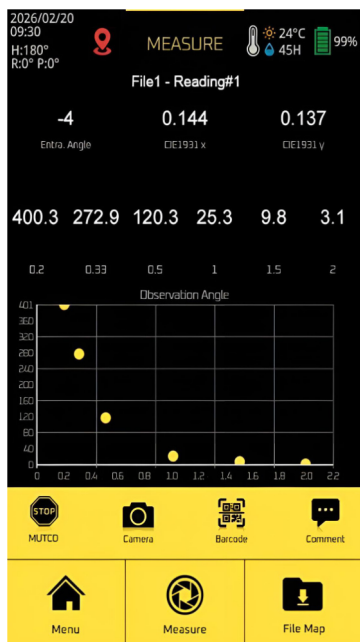
- ➡ SETUPメニューで、MSR MODEを選択して適切なモードを選択してください。同様に、OBS ANGLESメニューを使用して、必要な観測角度を有効/無効にできます。

注: 必要な観測角度を選択するには、地域の規格を参照してください。

タイプ	モード	ルール	角度
反射材 あらゆる素材に使用可能	シングル 単回測定	合否判定: カスタムルール	該当する角度を すべて選択して ください。
交通標識 交通標識専用の測定方法	マルチプル 複数の測定値を比較・平均化 するために使用	MUTCD 米国公式規格	6種類 利用可能

さらに詳しい情報については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://kyokko.com/products/measurement/hanshatoka/roadvista-model-1022>



測定方法

- ➡ 機器の電源が入っていることを確認し、「測定」メニューを選択してください。看板の文字幅が1インチ(25mm)未満の場合は、適切なアパーチャーリデューサーを取り付け、看板の測定やバーコードのスキンを開始する前に再校正を行ってください。
- ➡ トリガーボタンを使用して測定を行ってください。
- ➡ 測定が完了すると、機器からビープ音が鳴ります。

測定に関する注記

- ➡ 必要に応じて、以下の項目を追加できます。
 - ➡ コメント
 - ➡ MUTCD規格標識
 - ➡ バーコード/QRコード
 - ➡ カメラ
 - ➡ 制限値
- ➡ その他の情報は、選択したタイプ、モード、ルールに応じて、下部のユーティリティバーに表示されます。

データの保存

- ➡ 必要な情報をすべて入力したら、「ファイルマップ」ボタンで指定したフォルダに保存してください。

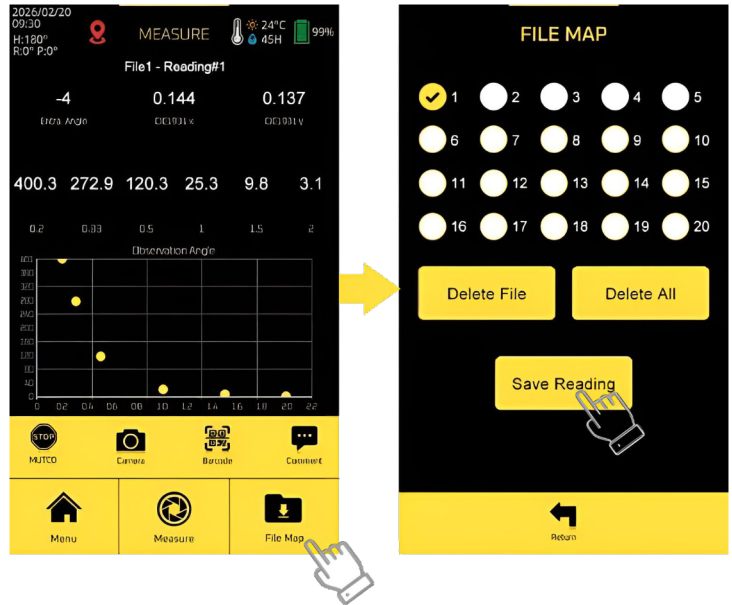


データ表示

- ⇒ 「View Data」メニューを開いてください。ここでは、すべてのデータを整理するための20個のフォルダがあります。ジョブごとにフォルダを分けて使用することをお勧めします。各フォルダには数千件の測定値を保存できます。
 - ⇒ フォルダ間を移動するには、「File map」ボタンを使用してください。
 - ⇒ 矢印キーを使用して標識をスクロールし、重複データを削除できます。
 - ⇒ 内部ストレージ容量は16GBです。
- ⇒ 各測定値とその周辺データがここに表示されます。このメニューでは、エクスポート前にデータを確認、削除、またはクリアできます。

データのダウンロード

- ⇒ 1022は、コンピューターまたはUSBメモリに直接データをエクスポートできます。
- ⇒ SETUP > USB Modelに進み、USB-Cケーブル経由でエクスポートする場合はMSCが有効になっていることを確認してください。
- ⇒ どのモードでもUSBメモリへのエクスポートが可能です。
- ⇒ SETUP > USBエクスポートを選択してください。ここで、エクスポートするファイル形式を選択できます。
 - ⇒ CSV:スプレッドシート形式
 - ⇒ KML:任意の地図アプリケーション用
 - ⇒ SHP:GISプログラム用
- ⇒ 撮影した写真は、USB-Cケーブル経由でのみコンピューターにエクスポートできます。写真が不要な場合は、USBメモリに直接エクスポートすることをお勧めします。



GPS

- ⇒ 機器の電源を入れると、GPSが自動的に起動します。
- 有効なGPS位置情報が検出されると、上部のバーにGPSアイコンが表示されます。アイコンがグレー表示され、赤い×印が表示されている場合は、GPSが無効になっているか、衛星との通信ができていません。
 - ⇒ 詳細については、「Setup」メニューから「GPS」を選択してください。
 - ⇒ 「Internal GPS Enabled」が「オン」になっていることを確認してください。
 - ⇒ 「GPS Detail」をタップすると、接続状況、精度、またはGPS表示形式の調整を確認できます。

Bluetooth

- ⇒ 内蔵Bluetoothは、GISデータ管理デバイス（例：Trimble製ユニット）と連携して使用できます。
- ⇒ バッテリー寿命を延ばすために、必要に応じてBluetoothを有効/無効にしてください。
 - ⇒ Return to Menuをタップし、次にSetupをタップします。
 - ⇒ Bluetoothを有効にする/無効にします。

1022のクリーニング

- クリーニング前に必ず電源を切ってください。
- ⇒ タッチスクリーンのクリーニング:糸くずの出ないレンズクロスまたはマイクロファイバータオルを使用してください。
 - ⇒ 画面を優しく拭き、指紋や汚れを取り除いてください。
- 外装のクリーニング
 - ⇒ 外装のクリーニング:水と中性洗剤のみを使用してください。化学洗剤は絶対に使用しないでください。
- レンズのクリーニング
 - ⇒ 糸くずの出ないレンズクロスまたはマイクロファイバータオルを使用してください。
 - ⇒ レンズを優しく拭き、指紋や汚れを取り除いてください。
 - ⇒ 必要に応じて、アンモニアを含まないガラスクリーナーを使用できます。

